



西小だより

6月号

令和5年5月31日

◆校長のひとり言◆

私は、これまで中学校の生徒指導主任を務めその間、校門で全校生徒の登校を毎朝見守ってきました。その様子は、朝練に来る野球部員の規律ある元気の良いあいさつから始まり、目を合わせ笑顔であいさつができる生徒、起床して身だしなみを整える時間が無かったのか、鳥の巣のような頭をして登校する生徒。寝坊をしたのか、猛スピードの車が校門前に横付けされ、慌てて下車し玄関に向かって猛ダッシュする生徒たちの様々なドラマがありました。

本校でも、児童の様子を見守っていますが、班長を先頭に一列に整列して登校してくる児童、それから児童を見守ってくださる地域の方、保護者の方々の会釈やあいさつで穏やかな朝の一日が始まっています。そして中には、私の前で車をわざわざ減速させウインドーを下げ、あいさつをされる保護者や地域の方もいらっしゃいます。私が、これまで経験したことのない朝の出会いに校長として、いえ、人として本当に頭のさがる思いをしています。児童や地域の方、保護者の方々の気持ちの良いあいさつが私の元気の源です。ありがとうございます。



【 西の日 】

◆梅雨入りしました◆

山口県も例年より早く梅雨入りしました。これから雨の日が多くなり、室内にすることが多くなります。こんな時こそ、静かに本を読んでほしいと思います。晴れの日には、外で元気に遊び、雨の日には室内での遊び方を工夫する。雨の日の過ごし方の一つとして行う読書には様々な良さがあります。それらの良さを、過去の偉人や著名人がいろいろと語ってくれるはずです。

それから、雨のため通学路も危険な状態になる場合があります。引き続き安全な登下校ができますよう見守りをよろしくお願いいたします。